

## 一般演題(ベストポスター賞 ファイナリスト)

ポスター会場: 松本市総合体育館 1階 メインアリーナ

インタビュー: 10月13日(木) 17:00~18:00

ポスター発表: 10月14日(金) 16:50~17:50

貼付: 10月13日(木) 8:30~9:30 撤去: 10月15日(土) 11:30~12:00

発表番号	筆頭演者	演題名
P-1	菱沼 英史	21種類のジヒドロピリミジナーゼ遺伝子多型バリエーションの機能変化解析
P-2	香月 康宏	ヒト薬物代謝予測のためのマウス人工染色体とゲノム編集によるヒト化CYP3Aラットの作製
P-3	阿部 智志	ゲノム編集によるヒト化CYP3AマウスのCYP3A5一塩基多型改変
P-4	岩藤 悟	HAC/MAC技術を用いた薬物動態及び毒性研究のための4種のCYP安定発現HepG2細胞の作出
P-5	中野 正隆	RNA編集が乳がんにおけるジヒドロ葉酸還元酵素の発現に与える影響
P-6	清水 佑記	新規マウスPXR活性化物質のセルベーススクリーニング
P-7	薄田 健史	キメラ型HLA遺伝子導入マウスを用いた免疫が関与する特異体質性薬物毒性の評価
P-8	横塚 弥衣	BCRPを介した脳興奮物質であるSpermineの排出
P-9	大庭 悠里	膜輸送体かつ構造選択的メタボロミクスによる新規内因性OCTN1基質の探索
P-10	稲垣 舞	マウス胎盤内プロスタグランジンE2分解に果たす輸送体の役割
P-11	三宅 健之	有機カチオントランスポーター(OCT)はトリメチルアミンN-オキシドの腎取り込みおよびクリアランスを担う
P-12	根来 亮介	遺伝子導入技術を用いたヒト iPS 細胞から機能的な小腸上皮細胞への高効率な分化誘導法の開発